

■現金預金の問題 ヒント

＜現金預金の問題の考え方＞

- ・現金勘定、当座預金勘定に関する適切な仕訳を行う。
- ・当座預金出納帳、銀行勘定調整表の読み取りと作成を行う。
- ・貸借対照表に計上される現金および当座預金の金額を計算する。

問 1

1. 当座預金勘定調整表（企業残高基準法）では、スタートの当座預金帳簿残高が当座預金出納帳の3月末残高であり、ゴールの当座預金銀行残高が銀行の残高証明書残高である。
2. 当座預金勘定調整表では、スタート（基準）である企業側の加算減算調整はそのまま、銀行側の加算項目は減算調整し、減算項目は加算調整する。

問 2

3. [資料Ⅰ]における企業残高と銀行残高の不一致原因ごとに、企業側の修正については適切な仕訳を行い、銀行側の修正については仕訳を行わない。
4. [資料Ⅱ]における判明事実について、適切な仕訳を行う。

問 3

5. 現金および当座預金について、3月末帳簿残高に適切な仕訳分の加算減算を行った金額をもって、貸借対照表に計上される現金および当座預金の金額とする。

■現金預金の問題 基本仕訳など

●現金…通貨、通貨代用証券を現金として取り扱う。

①他人振り出しの小切手を受け取った。

(借) 現	金	×××	(貸) 売 掛 金 な ど	×××
-------	---	-----	---------------	-----

②受け取っていた他人振り出しの小切手を、当座預金に預け入れた。

(借) 当 座 預 金	×××	(貸) 現	金	×××
-------------	-----	-------	---	-----

③仮払金を現金で支払った。

(借)	仮	払	金	×××	(貸)	現	金	×××
-----	---	---	---	-----	-----	---	---	-----

④以前に処理していた仮払金について精算を行い、残金を現金で受け取った。

(借)	旅	費	な	ど	×××	(貸)	仮	払	金	×××
	現			金	×××					

⑤配当金領収証を受け取った。(源泉所得税あり)

(借)	現	金	×××	(貸)	受	取	配	当	金	×××
	仮	払	法	人	税	等				×××

⑥決算にあたり、外国通貨の換算替えを行った。(取得時の為替相場 < 決算時の為替相場)

(借)	現	金	×××	(貸)	為	替	差	損	益	×××
-----	---	---	-----	-----	---	---	---	---	---	-----

●当座預金 ※ () 内は銀行勘定調整表作成時の調整内容を示す。

①小切手を振り出した。

(借)	買	掛	金	な	ど	×××	(貸)	当	座	預	金	×××
-----	---	---	---	---	---	-----	-----	---	---	---	---	-----

②(企業側減算) 水道光熱費の自動引落としが行われていたが、通知が当社に未達であった。

(借)	水	道	光	熱	費	×××	(貸)	当	座	預	金	×××
-----	---	---	---	---	---	-----	-----	---	---	---	---	-----

③(企業側加算) 売掛金が当座預金口座に振り込まれていたが、通知が当社に未達であった。

(借)	当	座	預	金	×××	(貸)	売	掛	金	×××
-----	---	---	---	---	-----	-----	---	---	---	-----

④(企業側加算) 買掛金支払いのため振り出していた小切手が、相手先に未渡しであった。

(借)	当	座	預	金	×××	(貸)	買	掛	金	×××
-----	---	---	---	---	-----	-----	---	---	---	-----

⑤(企業側加算) 通信費支払いのため振り出していた小切手が、相手先に未渡しであった。

(借)	当	座	預	金	×××	(貸)	未	払	金	×××
-----	---	---	---	---	-----	-----	---	---	---	-----

⑥(銀行側加算) 当座預金へ預け入れたが、銀行の営業時間外であった。

(借)	仕	訳	な	し	(貸)	
-----	---	---	---	---	-----	--

⑦(銀行側減算) 振り出していた小切手が、まだ銀行に呈示されていなかった。

(借)	仕	訳	な	し	(貸)	
-----	---	---	---	---	-----	--

勘定科目まとめ

資産	現金 当座預金 売掛金 仮払金 仮払法人税等
負債	買掛金 未払金
収益	受取配当金 為替差損益
費用	水道光熱費 為替差損益